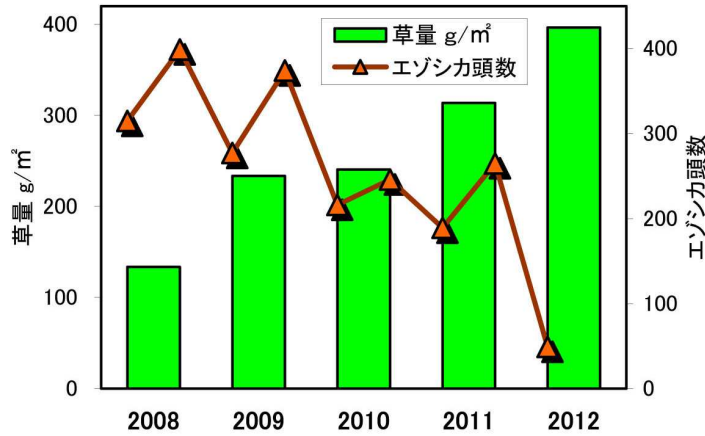


エゾシカ個体数調整実施地区における植生への影響評価

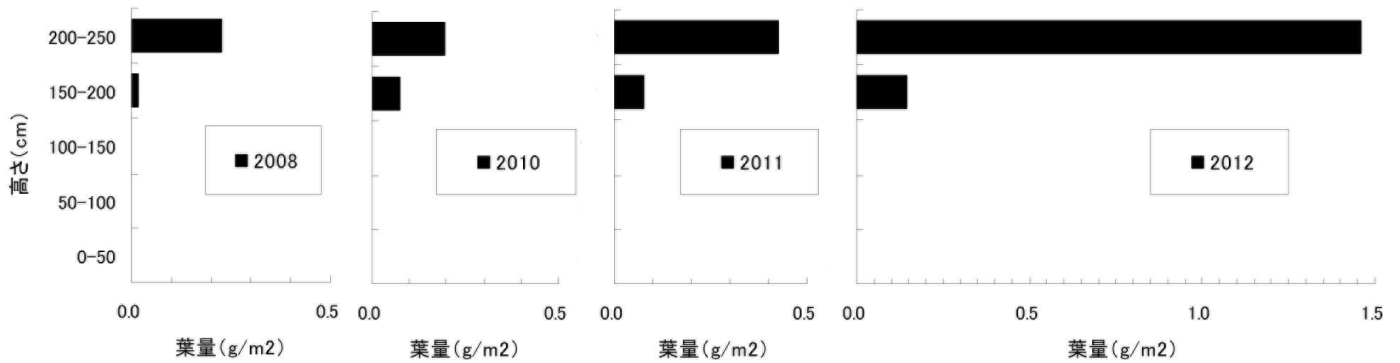
●知床岬地区

①知床岬地区におけるエゾシカ頭数(7km²あたり)とイネ科草本群落における草量(乾燥重量)の推移



・シカ生息数の減少に伴い草量が増加している。

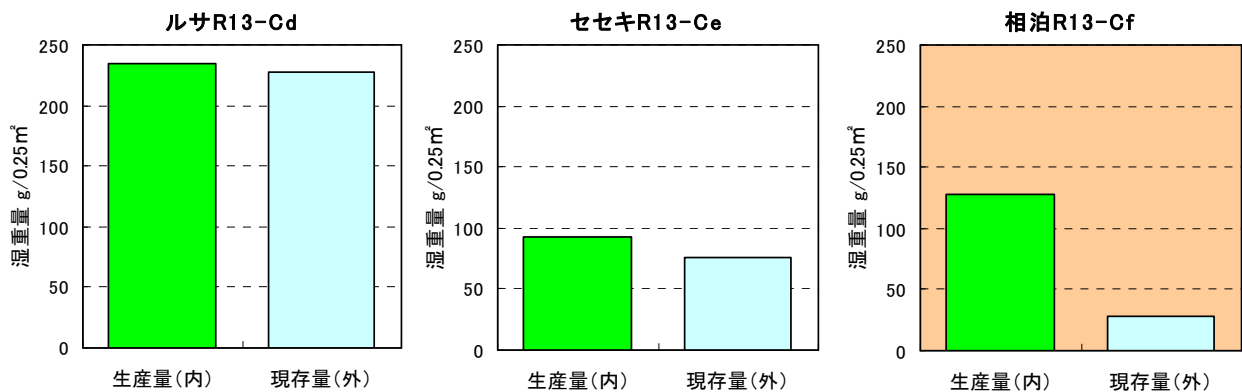
②森林部における下層葉量の垂直分布



・150～250cmの下層葉量が2011年以降顕著に増加

●ルサー相泊地区

○イネ科草本群落における植生保護柵内外の草量(湿重量/0.25m²)



・シカ捕獲数の多いルサでは柵内外の草量の差=採食量が少なく、捕獲数の少ない相泊では採食量が多い。